

「防災」がテーマの特別授業「考える防災教室」を実施しました。

平成 26 年 7 月 23 日  
大阪ガス株式会社



大阪ガスグループでは、「エネルギー環境教育」「食育」「火育」などを通じた次世代教育を目指して、さまざまな教材の配布や、出張授業を実施しています。

今年の6月からは、小学生を対象とした、防災に関する新たな教材「考える防災教室」の配布がスタートしました。冊子を開くと、イラストや漫画が多く、子どもたちに分かりやすく防災の大切さを伝える内容になっています。

今回は、この教材の配布開始にあたり、大阪ガス社員が小学校での初めての模擬授業を実施しました。

模擬授業にご協力いただいたのは、神戸市立塩屋小学校5年生の皆さんです。

授業は、日本で起こる自然災害や、災害による暮らしの変化についての授業からスタート。これまでに日本で起きた震度6弱以上の地震の話や、その被害の大きさを、写真を見ながら解説しました。

崩れた高速道路、倒れた電柱の写真を見て、驚きを隠せない様子。

「ガスや電気、水道などのライフラインが止まったときに、できなくなることはなんでしょう？」というクイズでは、「コンロが止まって料理ができなくなる」「お風呂に入れなくなる」と、次々に答えが！

身近なものを使って災害時のトラブル解決法を考えるクイズでは、グループを組んで全員で話し合い、みんなでどうやって困難な状況を切り抜けるかを発表してくれました。

ガスが止まって料理ができなければ、どうやって料理をする？料理に使う食器が壊れたら、なにを食器の代わりにする？

クイズの内容は、一瞬悩んでしまうものばかり。

それでも子どもたちは、「料理にはカセットコンロを使う！」「空のペットボトルを切って食器にする！」と、グループ全員で協力して、答えを導き出していました。

クイズのあと、子どもたちに配られたのは、新聞紙を折って作った紙の食器。ラップやビニール袋を敷いて使えば、ちゃんと料理を盛り付けることができます！

※教材にも紙食器の作り方が載っています。

今日の授業どうだった？と、質問したところ「ちょっと難しかったけど、楽しくできました！」「今日聞いたことを覚えて、準備しておきたいです」といった感想をいただきました。

いつ起こるか分からない自然災害に備えて、防災の知識を日頃から蓄えておくのはとっても大切なこと。この授業を通じて、日頃から防災意識を高めてくれることを願っています。

大阪ガスグループはこれからも、さまざまな活動を通じて、次世代の育成に努めて参ります。

>> 「考える防災教室」のホームページはこちら

<http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/bousai/booklet/index.html>

(※) 当教材は、大阪ガスの都市ガスをご利用いただいている地域の小学校へ配布するものです。個人のお客さま向けではございませんので、あらかじめご了承ください。

<当日の授業の様子>



■模擬授業スタート。イラスト・写真を交えた教材を手に、みんな真剣な表情に



■災害時のトラブルに関するクイズにも挑戦！



以上